BNY MELLON
INVESTMENT MANAGEMENT

インサイト・グローバル・クレジット・ファンド
Aコース（野村SMA・EW向け）／Bコース（野村SMA・EW向け）

追加型投信／内外／債券

交付運用報告書

第４期（決算日2024年12月６日）
作成対象期間（2023年12月７日～2024年12月６日）

	第４期末（2024年12月６日）	
	Ａコース（野村ＳＭＡ・ＥＷ向け）	Ｂコース（野村ＳＭＡ・ＥＷ向け）
基準価額	8,681円	13,574円
純資産総額	2,823百万円	16,071百万円
	第４期	
騰落率	2.8%	11.2%
分配金（税込み）合計	0円	0円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第２位を四捨五入しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

平素は、格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「インサイト・グローバル・クレジット・ファンド　Ａコース（野村ＳＭＡ・ＥＷ向け）／Ｂコース（野村ＳＭＡ・ＥＷ向け）」は、2024年12月６日に第４期の決算を行いました。当ファンドは、アイルランド籍外国投資信託「ＢＮＹメロン・グローバル・クレジット・ファンド（※）」および三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社が運用する国内籍証券投資信託「マネープールファンド（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家限定）」に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目指して運用を行っております。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

※各コースにおいて、以下のクラスが入ります。
Ａコース（野村ＳＭＡ・ＥＷ向け）：ＪＰＹ　Ｘヘッジクラス
Ｂコース（野村ＳＭＡ・ＥＷ向け）：ＪＰＹ　Ｘクラス

○当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記方法により閲覧・ダウンロードいただけます。
○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
下記のホームページの「ファンド」を選択いただき、当ファンドの「運用報告書（全体版）」を選択いただくと、閲覧およびダウンロードすることができます。
なお、過去５年間の運用報告書（全体版）につきましては画面の右「ファンド情報」ファンド一覧の一番下の「運用報告書（全体版）過去分」を選択いただくと、閲覧・ダウンロードすることができます。

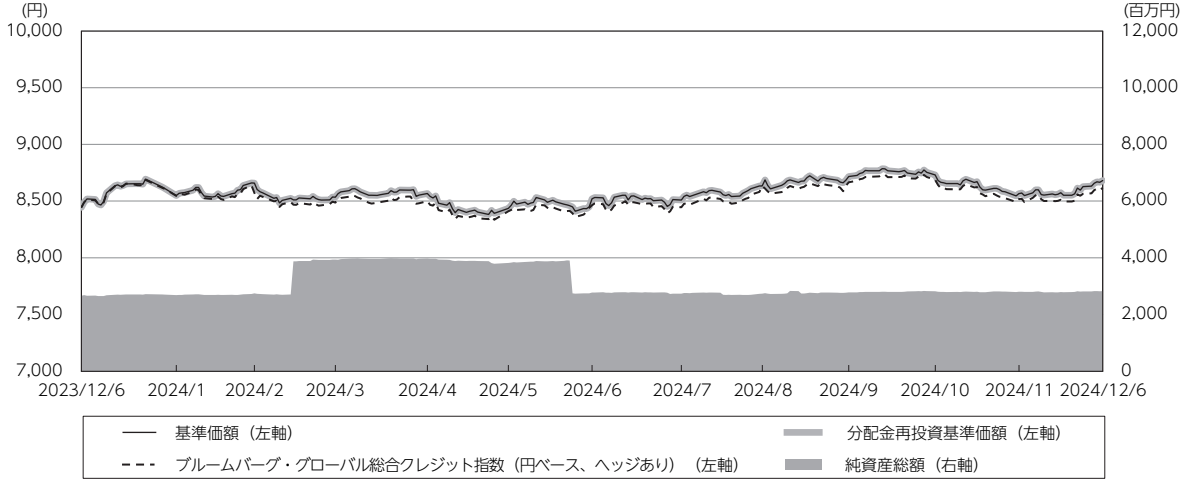
ＢＮＹメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社
東京都千代田区丸の内１丁目８番３号
丸の内トラストタワー本館
＜運用報告書に関するお問い合わせ先＞
電話番号：03-6756-4600（代表）
受付時間：営業日の9：00～17：00
ホームページ　https：//www.bnymellonam.jp/

インサイト・グローバル・クレジット・ファンド　Aコース（野村ＳＭＡ・ＥＷ向け）

■運用経過

（2023年12月７日～2024年12月６日）

期中の基準価額等の推移



期　　首：　8,444円
期　　末：　8,681円（既払分配金（税込み）：0円）
騰 落 率：　　2.8％（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。期首の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）ファンドの購入価額により課税条件は異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）ブルームバーグ・グローバル総合クレジット指数（円ベース、ヘッジあり）は当ファンドの参考指数です。詳細は５ページをご参照ください。参考指数は、期首の値が基準価額と同一になるように計算しています。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「ＢＮＹメロン・グローバル・クレジット・ファンド（ＪＰＹ　Ｘヘッジクラス）」が上昇したことから、当ファンドの基準価額も上昇しました。

上昇要因

・2024年８月、FRB（米連邦準備制度理事会）による利下げ観測が強まる中、米国債利回りの低下がプラスに働いたこと

下落要因

・2024年４月、米国のCPI（消費者物価指数）上振れを受けて米国の利下げ開始時期が後ずれするとの思惑から、米国債利回りが大幅に上昇したこと

１万口当たりの費用明細

（2023年12月７日～2024年12月６日）

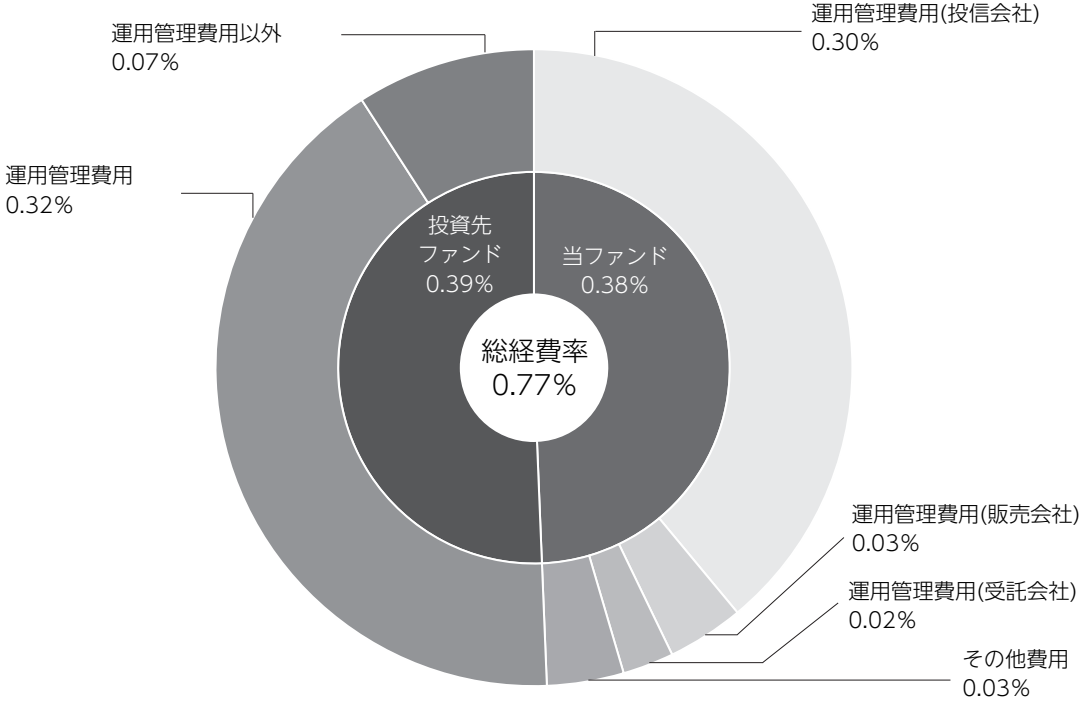
項　　目	当　期		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
	円	%	
(a) 信託報酬	31	0.357	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、8,576円です。
（投信会社）	(26)	(0.303)	信託財産の運用指図、法定開示書類の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(3)	(0.033)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	信託財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	30	0.353	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(2)	(0.025)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	(0)	(0.005)	目論見書、運用報告書等の印刷・交付等に係る費用
（その他）	(28)	(0.322)	組入ファンドの管理報酬等
合　　計	61	0.710	

（注） 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注） 消費税は報告日の税率を採用しています。
（注） 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注） 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
（注） 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
（注） 各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

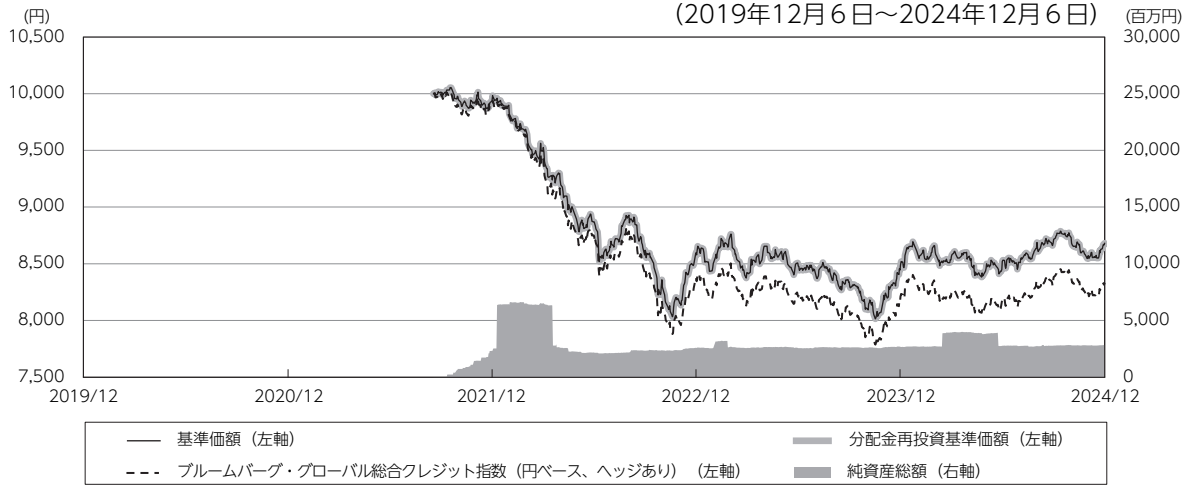
当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.77％です。



総経費率（①＋②＋③）	0.77%
①当ファンドの費用の比率	0.38%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.32%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.07%

(注) ①の費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
(注) 各比率は、年率換算した値です。
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。
(注) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近５年間の基準価額等の推移



（注） 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注） ファンドの購入価額により課税条件は異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注） ブルームバーグ・グローバル総合クレジット指数（円ベース、ヘッジあり）は当ファンドの参考指数です。詳細は以下をご参照ください。参考指数は、設定日の値が基準価額と同一になるように計算しています。

	2021年８月23日 設定日	2021年12月６日 第１期末	2022年12月６日 第２期末	2023年12月６日 第３期末	2024年12月６日 第４期末
基準価額　(円)	10,000	9,932	8,597	8,444	8,681
期間分配金合計(税込み)　(円)	－	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率　(%)	－	△ 0.7	△ 13.4	△ 1.8	2.8
ブルームバーグ・グローバル総合クレジット指数(円ベース、ヘッジあり) 騰落率　(%)	－	△ 0.9	△ 15.4	△ 2.5	2.0
純資産総額　(百万円)	0.1	2,322	2,580	2,658	2,823

（注） 上記騰落率は、１年前の決算応当日との比較で、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。ただし、第１期末の騰落率は、設定日との比較です。
（注） 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

●参考指数について
ブルームバーグ・グローバル総合クレジット指数は、ブルームバーグ社が公表する、世界のクレジット市況の総合的な動きを表す指数です。ブルームバーグ・グローバル総合クレジット指数（円ベース、ヘッジあり）は当ファンドの参考指数です。
当指数は、委託会社による一定の目的での利用のためにライセンスされています。
海外の指数は、基準価額の反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しております。

投資環境

グローバル・クレジット・債券指数であるブルームバーグ・グローバル総合クレジット指数（円ベース、ヘッジあり）の当期における騰落率は2.0％となりました。

期初、米国のインフレ鈍化を受けてFRBによる早期利下げを織り込む動きが拡大し、グローバルのクレジット市場は堅調なスタートを切りました。2024年１月以降は、FRBやECB（欧州中央銀行）の金融政策の見通しを巡り一進一退の展開が続きましたが、底堅い企業業績などを背景に社債の国債に対する上乗せ金利（スプレッド）は５月末ごろまで総じて縮小傾向が継続しました。ECBは６月にインフレの鈍化を受けて約４年９カ月ぶりとなる政策金利の引き下げを発表しましたが、市場への影響は限定的でした。８月、米国の雇用統計の悪化を受けてFRBによる利下げ観測が強まる中、米国債利回りは大幅に低下しましたが、世界的な株安からスプレッドは一時大幅に拡大しました。その後はFRBの利下げ開始が好感されてスプレッドが縮小したものの、インフレ再燃懸念などから主要国債利回りが上昇したため、全体では上値の重い展開が継続して期末を迎えました。

為替市場（米ドル・日本円）は、FRBや日銀高官の発言などを受けて変動が大きくなる場面もみられましたが、期前半は米国経済の力強さが意識される中で総じて円安・米ドル高の動きが進みました。7月から９月にかけては、日銀の追加利上げ決定を受けて世界的な円キャリー取引の巻き戻しが進行し、大幅な円高となりましたが、10月から期末にかけてはFRBによる大幅利下げ観測が後退したことや、米国大統領選挙においてトランプ氏が勝利したことなどを受けて概して円安・米ドル高となりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、「ＢＮＹメロン・グローバル・クレジット・ファンド（ＪＰＹ　Ｘヘッジクラス）」及び「マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）」（2024年３月中旬以降「マネープールファンド（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家限定）」）に対する投資を行い、期を通じて「ＢＮＹメロン・グローバル・クレジット・ファンド（ＪＰＹ　Ｘヘッジクラス）」の組入比率を高位に保ちました。米ドル建ての資産に関して日本円で為替ヘッジを行いました。

以下は「ＢＮＹメロン・グローバル・クレジット・ファンド（ＪＰＹ　Ｘヘッジクラス）」の運用の概況です。

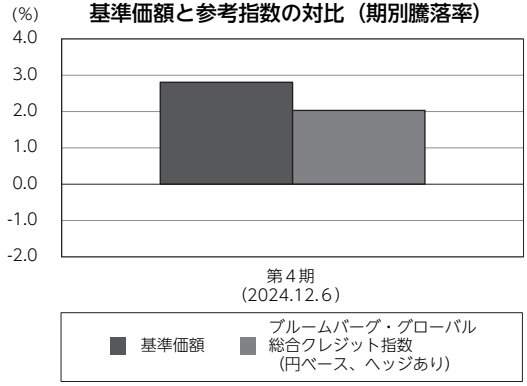
市場配分

主要国におけるインフレの状況や金融政策の違い、経済成長見通し、企業のファンダメンタルズなどを考慮し、期中に投資適格社債やハイ・イールド社債などの配分を機動的に行いました。

業種配分

主として、銀行のシニア債や公益セクターなどの投資比率を高めとし、エネルギー等を抑制的としました。

当ファンドのベンチマークとの差異



（注） 基準価額の騰落率は分配金込みです。
（注） 参考指数は、ブルームバーグ・グローバル総合クレジット指数（円ベース、ヘッジあり）です。詳細は５ページをご参照ください。

基準価額の期中騰落率は、2.8％となりました。一方、参考指数であるブルームバーグ・グローバル総合クレジット指数（円ベース、ヘッジあり）の期中騰落率は、2.0％でした。

なお、当ファンドはベンチマークを設けておりません。

分配金

当期の収益分配については、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせていただきました。分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第４期 2023年12月７日～ 2024年12月６日
当期分配金 （対基準価額比率）	－ －％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	1

（注） 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注） 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

当ファンドでは、引き続きファンドの基本方針に則り、「ＢＮＹメロン・グローバル・クレジット・ファンド（ＪＰＹ　Ｘヘッジクラス）」を高位に組み入れた運用を行います。

米国の利下げペース修正の動きや市場のボラティリティ上昇を考慮し、ファンドの金利（デュレーション）リスクを参考指数対比で縮小（短期化）しています。特に、今後数ヵ月の間に米国のトランプ次期政権下での新たな政策が明らかとなる中で、関税の引き上げや法人税の引き下げなどはインフレに影響を及ぼす可能性があると考えます。クレジット（社債）では、クレジット・スプレッドが過去の水準と比べ全般的に割高な領域にあるとみており、引き続きクレジット全体のポジションについては参考指数対比で抑制的とする方針です。一方で、相対的なバリュエーション（割安／割高度合い）の観点からの個別銘柄選択を重視し、新規発行市場の投資機会などを通じてバランスシートの堅固な企業、流動性が潤沢な企業など魅力的と考える案件へ積極的に参加する方針です。地域別の観点では、欧州経済に対する悲観的なシナリオを織り込み割安感があると考える欧州の投資適格社債を米国対比でオーバーウェイトとしています。資産別では高金利環境下で資金繰り難やデフォルトの増加が見込まれるハイ・イールド社債に対しては慎重な見方をしていますが、投資適格社債と比べ割安と考える資産担保証券（ABS）を小規模のポジションながら保有しています。セクター別では、足元のオーバーウェイト・セクターは欧州の公益とする一方、大幅なアンダーウェイトのポジションは保有していません。資産運用会社であるインサイト・インベストメント・マネジメント（グローバル）リミテッド独自の運用プロセスやリスク管理手法を活用して、マイナスのリターンを極力抑制した魅力あるグローバル社債のリターンのご提供を目指します。外貨建資産に関して日本円で為替ヘッジを行い、引き続き為替変動リスクの低減を図って参ります。

■お知らせ

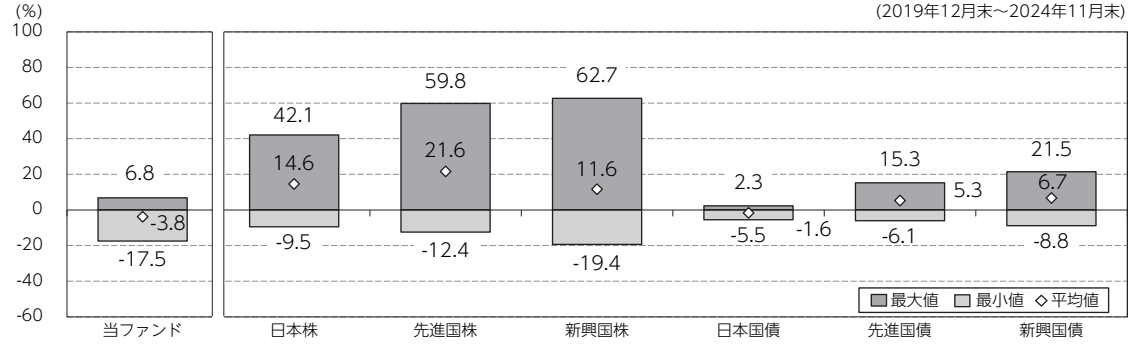
●約款変更のお知らせ
　投資対象の一つである国内籍証券投資信託を変更するため、約款に所用の変更を行いました。（2024年３月16日付）
　本変更は、運用の基本方針、商品としての同一性を失わせる重大な変更ではございません。

■当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	無期限
運用方針	投資信託証券への投資を通じて信託財産の中長期的な成長を図ることを目指して運用を行うことを基本とします。
主要投資対象	アイルランド籍外国投資信託「ＢＮＹメロン・グローバル・クレジット・ファンド（ＪＰＹ　Ｘヘッジクラス）」および三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社が運用する国内籍証券投資信託「マネープールファンド（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家限定）」を主要投資対象とします。
運用方法	①「ＢＮＹメロン・グローバル・クレジット・ファンド（ＪＰＹ　Ｘヘッジクラス）」の組入比率は高位を保つことを基本とします。 ②主要投資対象である「ＢＮＹメロン・グローバル・クレジット・ファンド（ＪＰＹ　Ｘヘッジクラス）」への投資を通じて、主として、世界各国の社債等（投資適格社債、ハイ・イールド社債、新興国債券（国債、社債等）、資産担保証券、ローン等）および派生商品等に投資を行い、米ドルベースでの中長期的な収益の獲得を目指して運用を行います。 ③主要投資対象である外国投資信託証券において、外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。 ④市況動向、資金動向その他の要因等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
分配方針	毎決算時（原則として12月６日。休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（注） 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注） 2019年12月から2024年11月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2021年8月23日に設定されたため、2022年８月から2024年11月までの数値であり、単純な比較はできません。
（注） 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日 本 株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」という）が算出・公表している、日本の株式を対象として算出した株価指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＪＰＸに帰属します。

先進国株・・・MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

日本国債・・・NOMURA － BPI国債
野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA － BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
FTSE Fixed Income LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

新興国債・・・JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）
J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

各資産クラスの騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

■当ファンドのデータ

組入資産の内容

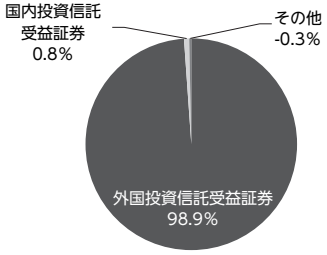
○組入上位ファンド

（2024年12月６日現在）

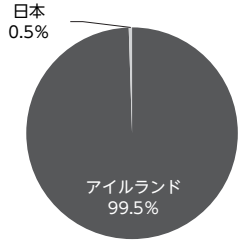
銘　　柄　　名	第４期末
	%
ＢＮＹメロン・グローバル・クレジット・ファンド（ＪＰＹ　Ｘヘッジクラス）	99.5
マネープールファンド（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家限定）	0.8
組入銘柄数	2銘柄

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注）組入上位ファンドの概要については、23ページ以降をご参照ください。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分

（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。小数点第二位以下を四捨五入しており、合計値が100%にならないことがあります。
（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
（注）通貨別配分につきましては通貨別純資産の比率です。

純資産等

項　　目	第４期末
	2024年12月６日
純　資　産　総　額	2,823,449,489円
受 益 権 総 口 数	3,252,389,806口
１万口当たり基準価額	8,681円

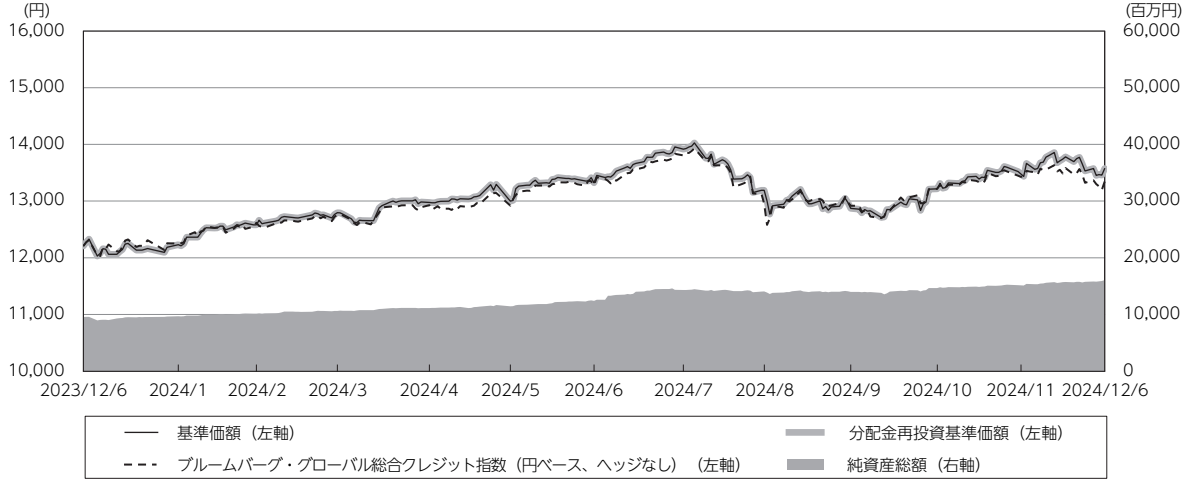
（注）期中における追加設定元本額は2,273,561,949円、同解約元本額は2,169,257,883円です。

インサイト・グローバル・クレジット・ファンド　Ｂコース（野村ＳＭＡ・ＥＷ向け）

■運用経過

（2023年12月７日～2024年12月６日）

期中の基準価額等の推移



期　　首：12,209円
期　　末：13,574円（既払分配金（税込み）：0円）
騰 落 率：　　11.2％（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。期首の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）ファンドの購入価額により課税条件は異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）ブルームバーグ・グローバル総合クレジット指数（円ベース、ヘッジなし）は当ファンドの参考指数です。詳細は16ページをご参照ください。参考指数は、期首の値が基準価額と同一になるように計算しています。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「ＢＮＹメロン・グローバル・クレジット・ファンド（ＪＰＹ　Ｘクラス）」が上昇したことから、当ファンドの基準価額も上昇しました。

上昇要因

・2024年１月～６月、米国経済の力強さや日米金利差が意識される中で総じて円安・米ドル高の動きが進んだこと
・2024年10月、米雇用統計が予想を上回ったことなどからFRBによる大幅利下げ観測が後退し、円安・米ドル高が進行したこと

下落要因

・2024年８月、日銀の追加利上げ決定を受けて世界的な円キャリー取引の巻き戻しが進行し、大幅な円高となったこと

１万口当たりの費用明細

（2023年12月７日～2024年12月６日）

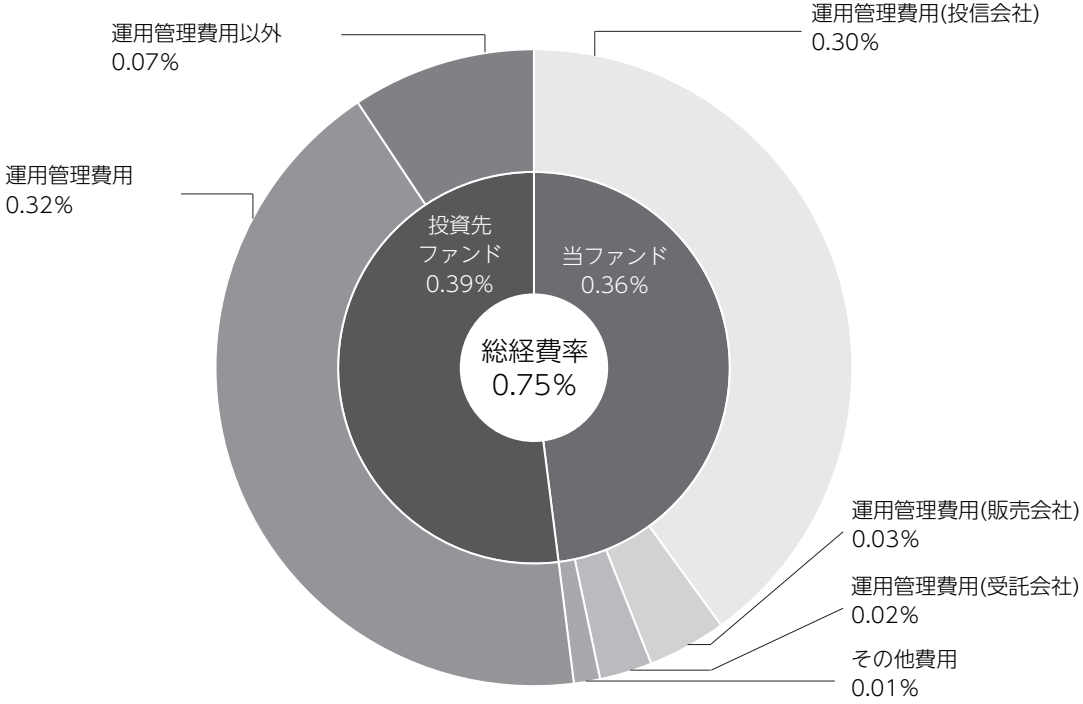
項　　目	当　期		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
	円	%	
(a) 信託報酬	47	0.357	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、13,127円です。
（投信会社）	(40)	(0.303)	信託財産の運用指図、法定開示書類の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(4)	(0.033)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(3)	(0.022)	信託財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	43	0.329	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.006)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	(1)	(0.006)	目論見書、運用報告書等の印刷・交付等に係る費用
（その他）	(42)	(0.317)	組入ファンドの管理報酬等
合　　計	90	0.686	

（注） 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注） 消費税は報告日の税率を採用しています。
（注） 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注） 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
（注） 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
（注） 各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

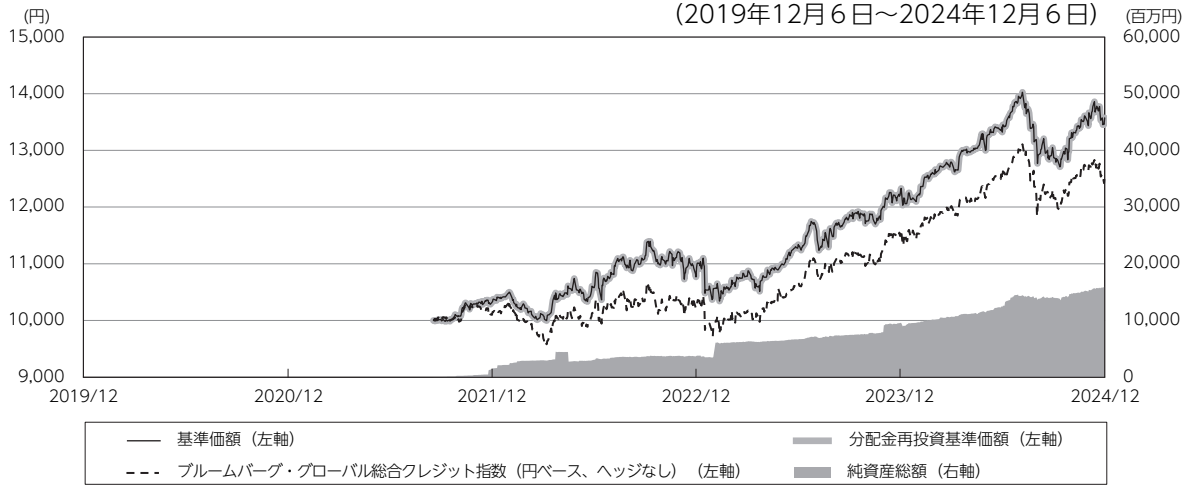
当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.75％です。



総経費率（①＋②＋③）	0.75%
①当ファンドの費用の比率	0.36%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.32%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.07%

(注) ①の費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
(注) 各比率は、年率換算した値です。
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。
(注) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近５年間の基準価額等の推移



（注） 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注） ファンドの購入価額により課税条件は異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注） ブルームバーグ・グローバル総合クレジット指数（円ベース、ヘッジなし）は当ファンドの参考指数です。詳細は以下をご参照ください。参考指数は、設定日の値が基準価額と同一になるように計算しています。

	2021年８月23日 設定日	2021年12月６日 第１期末	2022年12月６日 第２期末	2023年12月６日 第３期末	2024年12月６日 第４期末
基準価額　(円)	10,000	10,318	10,768	12,209	13,574
期間分配金合計(税込み)　(円)	－	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率　(％)	－	3.2	4.4	13.4	11.2
ブルームバーグ・グローバル総合クレジット指数(円ベース、ヘッジなし) 騰落率　(％)	－	0.8	1.1	12.5	9.3
純資産総額　(百万円)	0.1	1,530	3,702	9,538	16,071

（注） 上記騰落率は、１年前の決算応当日との比較で、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。ただし、第１期末の騰落率は、設定日との比較です。
（注） 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

●参考指数について
ブルームバーグ・グローバル総合クレジット指数は、ブルームバーグ社が公表する、世界のクレジット市況の総合的な動きを表す指数です。ブルームバーグ・グローバル総合クレジット指数（円ベース、ヘッジなし）は当ファンドの参考指数です。
当指数は、委託会社による一定の目的での利用のためにライセンスされています。
海外の指数は、基準価額の反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しております。

投資環境

グローバル・クレジット・債券指数であるブルームバーグ・グローバル総合クレジット指数（円ベース、ヘッジなし）の当期における騰落率は9.3％となりました。

期初、米国のインフレ鈍化を受けてFRBによる早期利下げを織り込む動きが拡大し、グローバルのクレジット市場は堅調なスタートを切りました。2024年１月以降は、FRBやECB（欧州中央銀行）の金融政策の見通しを巡り一進一退の展開が続きましたが、底堅い企業業績などを背景に社債の国債に対する上乗せ金利（スプレッド）は５月末ごろまで総じて縮小傾向が継続しました。ECBは６月にインフレの鈍化を受けて約４年９カ月ぶりとなる政策金利の引き下げを発表しましたが、市場への影響は限定的でした。８月、米国の雇用統計の悪化を受けてFRBによる利下げ観測が強まる中、米国債利回りは大幅に低下しましたが、世界的な株安からスプレッドは一時大幅に拡大しました。その後はFRBの利下げ開始が好感されてスプレッドが縮小したものの、インフレ再燃懸念などから主要国債利回りが上昇したため、全体では上値の重い展開が継続して期末を迎えました。

為替市場（米ドル・日本円）は、FRBや日銀高官の発言などを受けて変動が大きくなる場面もみられましたが、期前半は米国経済の力強さが意識される中で総じて円安・米ドル高の動きが進みました。7月から９月にかけては、日銀の追加利上げ決定を受けて世界的な円キャリー取引の巻き戻しが進行し、大幅な円高となりましたが、10月から期末にかけてはFRBによる大幅利下げ観測が後退したことや、米国大統領選挙においてトランプ氏が勝利したことなどを受けて概して円安・米ドル高となりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、「ＢＮＹメロン・グローバル・クレジット・ファンド（ＪＰＹ　Ｘクラス）」及び「マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）」（2024年３月中旬以降「マネープールファンド（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家限定）」）に対する投資を行い、期を通じて「ＢＮＹメロン・グローバル・クレジット・ファンド（ＪＰＹ　Ｘクラス）」の組入比率を高位に保ちました。

以下は「ＢＮＹメロン・グローバル・クレジット・ファンド（ＪＰＹ　Ｘクラス）」の運用の概況です。

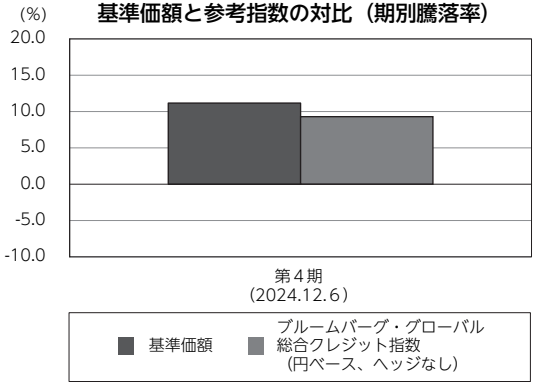
市場配分

主要国におけるインフレの状況や金融政策の違い、経済成長見通し、企業のファンダメンタルズなどを考慮し、期中に投資適格社債やハイ・イールド社債などの配分を機動的に行いました。

業種配分

主として、銀行のシニア債や公益セクターなどの投資比率を高めとし、エネルギー等を抑制的としました。

当ファンドのベンチマークとの差異



（注） 基準価額の騰落率は分配金込みです。
（注） 参考指数は、ブルームバーグ・グローバル総合クレジット指数（円ベース、ヘッジなし）です。詳細は16ページをご参照ください。

基準価額の期中騰落率は、11.2%となりました。一方、参考指数であるブルームバーグ・グローバル総合クレジット指数（円ベース、ヘッジなし）の期中騰落率は、9.3%でした。

なお、当ファンドはベンチマークを設けておりません。

分配金

当期の収益分配については、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせていただきました。分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第４期 2023年12月７日～ 2024年12月６日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	3,573

（注） 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注） 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

当ファンドでは、引続きファンドの基本方針に則り、「ＢＮＹメロン・グローバル・クレジット・ファンド（ＪＰＹ　Ｘクラス）」を高位に組み入れた運用を行います。

米国の利下げペース修正の動きや市場のボラティリティ上昇を考慮し、ファンドの金利（デュレーション）リスクを参考指数対比で縮小（短期化）しています。特に、今後数ヵ月の間に米国のトランプ次期政権下での新たな政策が明らかとなる中で、関税の引き上げや法人税の引き下げなどはインフレに影響を及ぼす可能性があると考えます。クレジット（社債）では、クレジット・スプレッドが過去の水準と比べ全般的に割高な領域にあるとみており、引き続きクレジット全体のポジションについては参考指数対比で抑制的とする方針です。一方で、相対的なバリュエーション（割安／割高度合い）の観点からの個別銘柄選択を重視し、新規発行市場の投資機会などを通じてバランスシートの堅固な企業、流動性が潤沢な企業など魅力的と考える案件へ積極的に参加する方針です。地域別の観点では、欧州経済に対する悲観的なシナリオを織り込み割安感があると考える欧州の投資適格社債を米国対比でオーバーウェイトとしています。資産別では高金利環境下で資金繰り難やデフォルトの増加が見込まれるハイ・イールド社債に対しては慎重な見方をしていますが、投資適格社債と比べ割安と考える資産担保証券（ABS）を小規模のポジションながら保有しています。セクター別では、足元のオーバーウェイト・セクターは欧州の公益とする一方、大幅なアンダーウェイトのポジションは保有していません。資産運用会社であるインサイト・インベストメント・マネジメント（グローバル）リミテッド独自の運用プロセスやリスク管理手法を活用して、マイナスのリターンを極力抑制した魅力あるグローバル社債のリターンのご提供を目指します。

■お知らせ

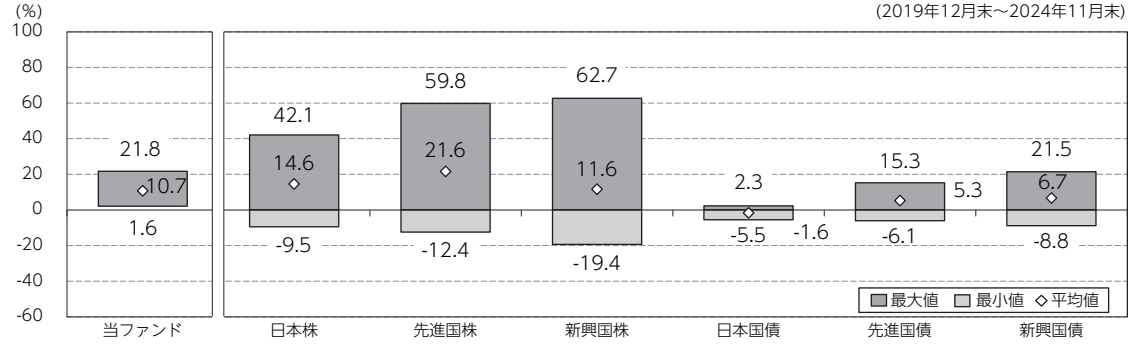
●約款変更のお知らせ
　投資対象の一つである国内籍証券投資信託を変更するため、約款に所用の変更を行いました。（2024年３月16日付）
　本変更は、運用の基本方針、商品としての同一性を失わせる重大な変更ではございません。

■当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	無期限
運用方針	投資信託証券への投資を通じて信託財産の中長期的な成長を図ることを目指して運用を行うことを基本とします。
主要投資対象	アイルランド籍外国投資信託「ＢＮＹメロン・グローバル・クレジット・ファンド（ＪＰＹ　Ｘクラス）」および三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社が運用する国内籍証券投資信託「マネープールファンド（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家限定）」を主要投資対象とします。
運用方法	①「ＢＮＹメロン・グローバル・クレジット・ファンド（ＪＰＹ　Ｘクラス）」の組入比率は高位を保つことを基本とします。 ②主要投資対象である「ＢＮＹメロン・グローバル・クレジット・ファンド（ＪＰＹ　Ｘクラス）」への投資を通じて、主として、世界各国の社債等（投資適格社債、ハイ・イールド社債、新興国債券（国債、社債等）、資産担保証券、ローン等）および派生商品等に投資を行い、米ドルベースでの中長期的な収益の獲得を目指して運用を行います。 ③主要投資対象である外国投資信託証券において、外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ④市況動向、資金動向その他の要因等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
分配方針	毎決算時（原則として12月６日。休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（注） 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注） 2019年12月から2024年11月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2021年８月23日に設定されたため、2022年８月から2024年11月までの数値であり、単純な比較はできません。
（注） 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日 本 株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」という）が算出・公表している、日本の株式を対象として算出した株価指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＪＰＸに帰属します。

先進国株・・・MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

日本国債・・・NOMURA － BPI国債
野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA － BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
FTSE Fixed Income LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

新興国債・・・JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）
J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

各資産クラスの騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

■当ファンドのデータ

組入資産の内容

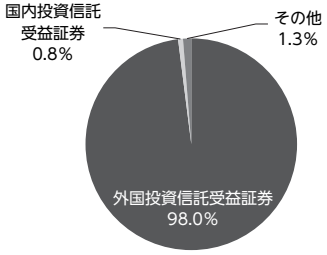
○組入上位ファンド

（2024年12月６日現在）

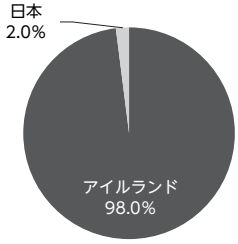
銘　　柄　　名	第４期末
	%
ＢＮＹメロン・グローバル・クレジット・ファンド（ＪＰＹ　Ｘクラス）	98.0
マネープールファンド（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家限定）	0.8
組入銘柄数	2銘柄

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注）組入上位ファンドの概要については、次ページ以降をご参照ください。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分

（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。小数点第二位以下を四捨五入しており、合計値が100%にならないことがあります。
（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
（注）通貨別配分につきましては通貨別純資産の比率です。

純資産等

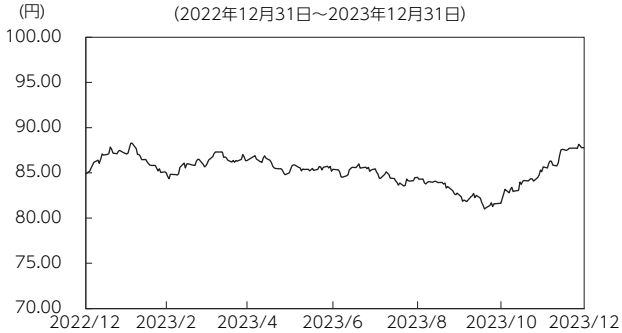
項　　目	第４期末
	2024年12月６日
純　資　産　総　額	16,071,873,119円
受 益 権 総 口 数	11,840,185,952口
１万口当たり基準価額	13,574円

（注）期中における追加設定元本額は5,888,891,582円、同解約元本額は1,861,430,544円です。

組入上位ファンドの概要

◆ＢＮＹメロン・グローバル・クレジット・ファンド（ＪＰＹ　Ｘヘッジクラス）

【基準価額の推移】



【１口当たりの費用明細】

主要投資情報書面にて開示されている継続手数料（ongoing charge）は0.11％です。

（注）当ファンドの本書作成時点で開示されている直近の会計年度末は2023年12月31日です。

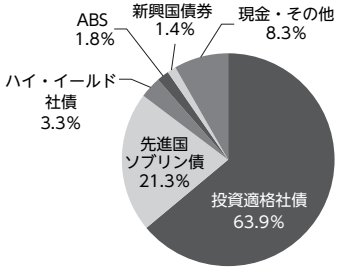
【組入上位10銘柄】

（2023年12月31日現在）

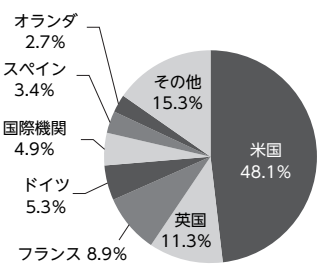
	銘　柄　名	種　別	通　貨	国（地域）	比　率
					%
1	US TSY 4.75% 11/15/43	先進国ソブリン債	米ドル	米国	4.8
2	US TSY 3.5% 01/31/28	先進国ソブリン債	米ドル	米国	4.4
3	US TS 2.875% 08/15/28	先進国ソブリン債	米ドル	米国	2.8
4	US TSY 4.5% 11/15/33	先進国ソブリン債	米ドル	米国	2.8
5	US TSY 2.75% 02/15/28	先進国ソブリン債	米ドル	米国	1.2
6	BUNDES 1.7% 08/15/32	先進国ソブリン債	ユーロ	ドイツ	1.1
7	BPCE SA VAR 10/19/34	投資適格社債(米ドル建)	米ドル	フランス	1.1
8	BNI Finan 3.875% 12/01/30	投資適格社債(ユーロ建)	ユーロ	英国	1.1
9	Leasys Sp 4.625% 02/16/27	投資適格社債(ユーロ建)	ユーロ	イタリア	1.1
10	Internati 5.25% 09/14/28	投資適格社債(ユーロ建)	ユーロ	英国	0.9
組入銘柄数（現物債券）		310銘柄			

（注）すべてのクラスを含んだ内容です。
（注）比率は、現金・現金同等証券等を除く債券部分を100％として計算した値です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

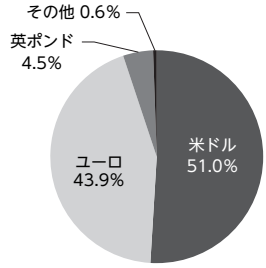
【資産別配分】



【国別配分】



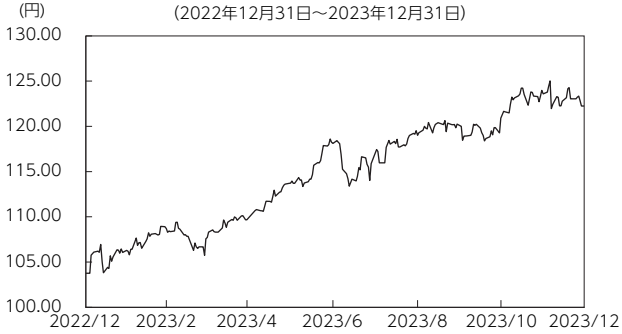
【通貨別配分】



（注）小数点第二位以下を四捨五入しており、合計値が100％にならないことがあります。
（注）資産別配分は現物債券に加えて「現金・その他」を含めた数値です。「その他」にCDS、金利スワップ、先物等のポジションを含みます。
（注）国別配分、通貨別配分は、現金・現金同等証券等を除く債券部分を100％として計算した値です。
（注）すべてのクラスを含んだ内容です。

◆ＢＮＹメロン・グローバル・クレジット・ファンド（ＪＰＹ　Ｘクラス）

【基準価額の推移】



【１口当たりの費用明細】

主要投資情報書面にて開示されている継続手数料（ongoing charge）は0.11％です。

（注）当ファンドの本書作成時点で開示されている直近の会計年度末は2023年12月31日です。

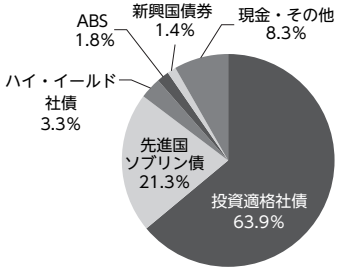
【組入上位10銘柄】

（2023年12月31日現在）

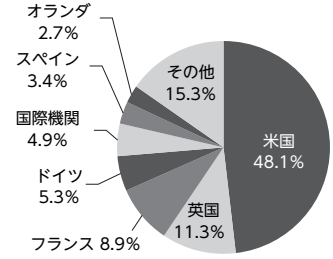
	銘　柄　名	種　別	通　貨	国（地域）	比　率
					%
1	US TSY 4.75% 11/15/43	先進国ソブリン債	米ドル	米国	4.8
2	US TSY 3.5% 01/31/28	先進国ソブリン債	米ドル	米国	4.4
3	US TS 2.875% 08/15/28	先進国ソブリン債	米ドル	米国	2.8
4	US TSY 4.5% 11/15/33	先進国ソブリン債	米ドル	米国	2.8
5	US TSY 2.75% 02/15/28	先進国ソブリン債	米ドル	米国	1.2
6	BUNDES 1.7% 08/15/32	先進国ソブリン債	ユーロ	ドイツ	1.1
7	BPCE SA VAR 10/19/34	投資適格社債(米ドル建)	米ドル	フランス	1.1
8	BNI Finan 3.875% 12/01/30	投資適格社債(ユーロ建)	ユーロ	英国	1.1
9	Leasys Sp 4.625% 02/16/27	投資適格社債(ユーロ建)	ユーロ	イタリア	1.1
10	Internati 5.25% 09/14/28	投資適格社債(ユーロ建)	ユーロ	英国	0.9
組入銘柄数（現物債券）		310銘柄			

（注）すべてのクラスを含んだ内容です。
（注）比率は、現金・現金同等証券等を除く債券部分を100％として計算した値です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

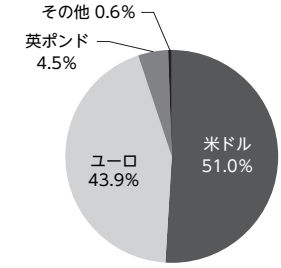
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



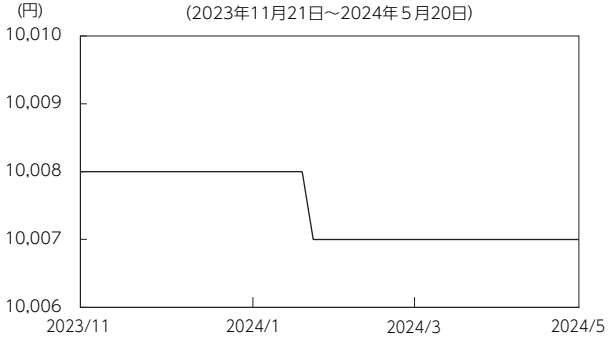
（注）小数点第二位以下を四捨五入しており、合計値が100％にならないことがあります。
（注）資産別配分は現物債券に加えて「現金・その他」を含めた数値です。「その他」にCDS、金利スワップ、先物等のポジションを含みます。
（注）国別配分、通貨別配分は、現金・現金同等証券等を除く債券部分を100％として計算した値です。
（注）すべてのクラスを含んだ内容です。

◆マネープールファンド（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家限定）

「マネープールファンド（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家限定）」は、「マネー・マーケット・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としております。なお、以下に記載した情報は、委託会社である三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社から入手したデータの一部を抜粋・転記したものです。

【基準価額の推移】

（2023年11月21日～2024年５月20日）



【１万口当たりの費用明細】

（2023年11月21日～2024年５月20日）

項　　目	当　期	
	金　額	比　率
	円	%
(a) 信託報酬	2	0.016
（投信会社）	(1)	(0.005)
（販売会社）	(1)	(0.005)
（受託会社）	(1)	(0.005)
合　　計	2	0.016
期中の平均基準価額は、10,007円です。		

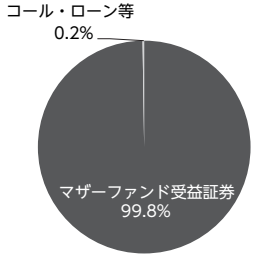
（注）上記項目の概要につきましては、３ページをご参照ください。
（注）当ファンドの決算は、年２回であり、直近の決算期末（第27期末）は2024年５月20日です。

【組入上位ファンド】

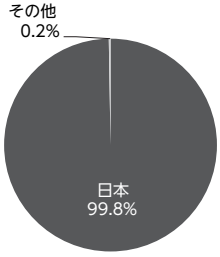
銘　柄　名	第27期末
	%
マネー・マーケット・マザーファンド	99.8
組入銘柄数	1銘柄

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【資産別配分】



【国・地域別配分】

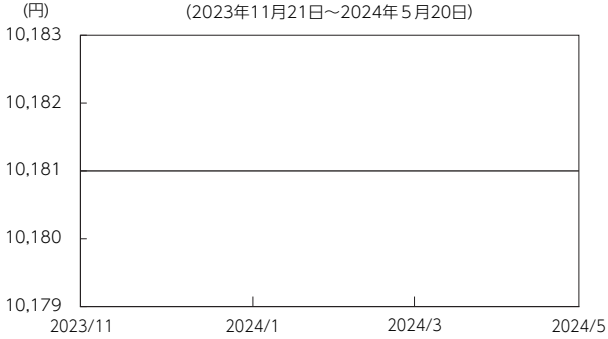


【通貨別配分】

（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5％未満の項目は「その他」に分類しています。
（注）国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。
（注）国・地域別配分、通貨別配分は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

<ご参考>　マネー・マーケット・マザーファンド

【基準価額の推移】



【１万口当たりの費用明細】

2023年11月21日～2024年５月20日
当期において費用が発生していないため、費用明細は作成しておりません。

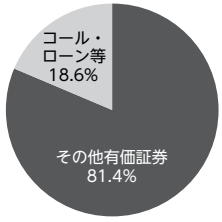
【組入上位10銘柄】

(2024年５月20日現在)

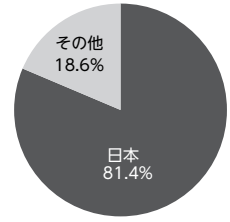
	銘　柄　名	種　類	国・地域	業種/種別	比　率
					%
1	マルベニ 240521	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	74.0
2	コスモエネHD 240521	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	7.4
3	－	－	－	－	－
4	－	－	－	－	－
5	－	－	－	－	－
6	－	－	－	－	－
7	－	－	－	－	－
8	－	－	－	－	－
9	－	－	－	－	－
10	－	－	－	－	－
組入銘柄数		２銘柄			

(注)　比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
(注)　原則、国・地域については、発行地を表示しています。

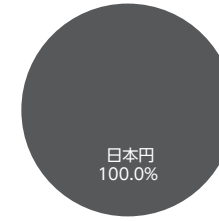
【資産別配分】



【国・地域別配分】



【通貨別配分】



(注)　比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
(注)　原則、国・地域については、発行地を表示しています。
(注)　国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。